



目指せ、自動車整備士

～自動車の安全・安心を守るエンジニア～

※自動車に電子機器（外部診断器）を接続して自動車整備をしている様子。

自動車整備士は国家資格です。

自動車の整備は、自動車を安全かつ快適に使用するために必要不可欠です。この重要な仕事を行うエンジニアが取得する国家資格として自動車整備士があります。

自動車整備士は、**自動車の構造や整備に関する知識や技能を持っていることを国が認めた国家資格**であり、今後、自動車に関する職業に就いていく上で大いに役立ちます。

自動車整備士は自動車の安全・安心を守ることで社会に大きな貢献をしています。

人や貨物の移動など、毎日の生活に自動車は欠かせません。このため、もし、走っている自動車が頻繁に故障すると、私たちの日々の生活に大変な支障が生じます。さらに、走行中の故障は、事故や環境汚染につながり、また、故障車が道路を塞いで渋滞を引き起こしたりするなど、社会が受ける影響はとて大きなものとなります。

自動車の安全・環境性能を維持し、故障を未然に防ぐためには、法令や自動車メーカーによって定められた一定期間ごとの点検や部品交換等の整備を適切に行う必要があります。

自動車整備士は、この整備の仕事の専門家です。**故障を未然に防いだり、適切に修理して自動車を良い状態に維持することにより、安全・安心を守り、社会に大きな貢献**をしています。

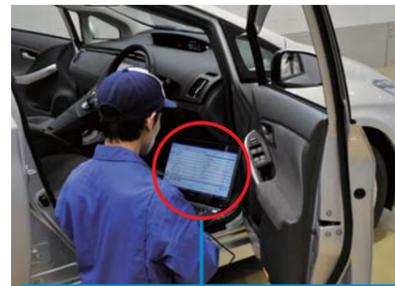
自動車整備士は、高度な技術力を習得し、発揮するプロフェッショナルです。

ハイブリッド自動車、電気自動車、水素を燃料とする燃料電池自動車等の次世代自動車の登場や、衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全装置の普及など、高度な技術が急速な勢いで自動車に使用されています。これらの次世代自動車の整備を行うためには、自動車の最新技術を理解し、適切な自動車整備を行うための技術を身に付け、その成果を発揮することが必要です。

自動車整備士は、次世代自動車の整備に必要な**高度な技術力を習得し、ユーザーのために発揮する自動車整備のプロフェッショナル**です。

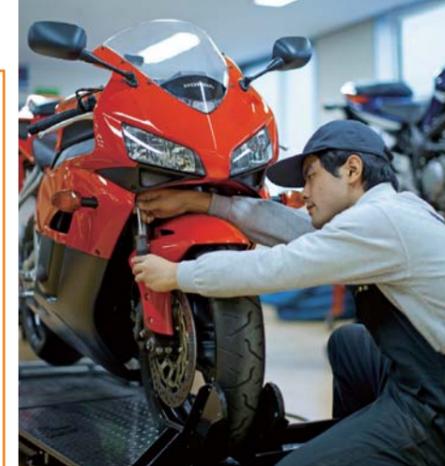
近年の自動車は『環境保全の性能の向上』『安全性の向上』などのために多くの電子制御システムが使用され、構造や機能が高度で複雑なものとなっています。

このため、自動車の整備においては、電子機器である外部診断器（※スキャンツール）を活用したり、インターネットを活用した情報提供ネットワークなどから整備情報を閲覧、収集するなど、IT化が進んでいます。



スキャンツール

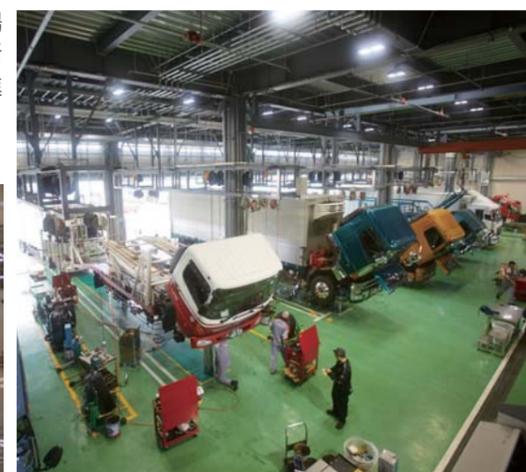
※スキャンツールは、その機能を格納したパソコンや専用の機器を自動車に接続し、自動車に搭載されたコンピューターから故障情報の読み取りなどを行うことができます。



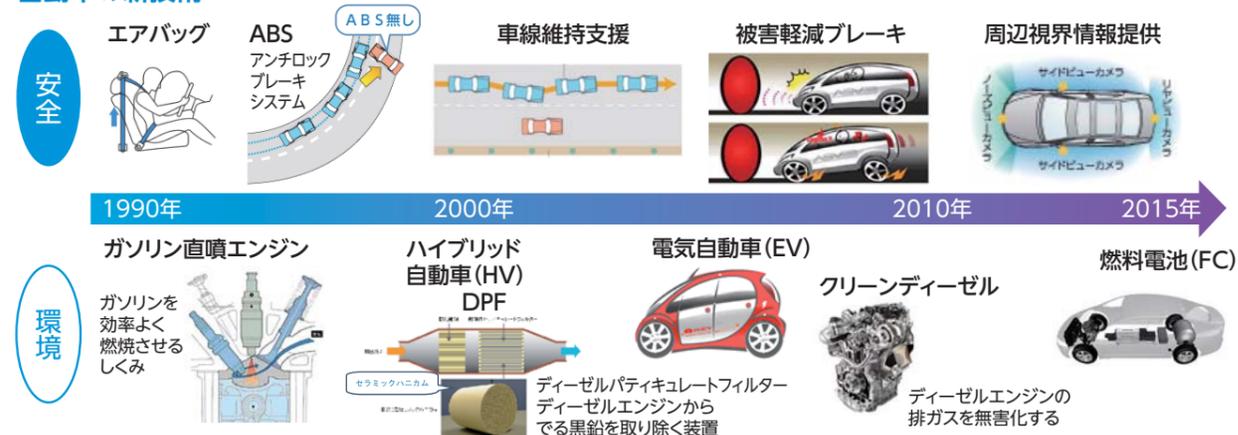
今、街を走っている自動車は、スマートフォンやタブレット等と同様に、私たちの身近な存在であり、社会にとってなくてはならないものです。そんな自動車が、突然故障したりしないように、また正常に動ける状態を維持するためには、法律で定められている定期点検などを行い、必要に応じてエンジンオイルや部品の交換などの整備を行わなければなりません。

自動車整備士の仕事

自動車整備の現場である整備工場は、自動車の状態を電子機器（外部診断器）で診断するなど高度化が進み、先進機器の導入や効率的な配置などにより先進的な工場へと変化しています。



自動車の新技術



自動車整備人材確保・育成推進協議会

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 / 全国自動車大学校・整備専門学校協会 / 全国自動車短期大学協会 / 一般社団法人日本自動車販売協会連合会 / 一般社団法人全国軽自動車協会連合会 / 一般社団法人日本自動車工業会 / 一般社団法人日本自動車連盟 / 日本自動車車体整備協同組合連合会 / 全国自動車電装品整備商工組合連合会 / 全国タイヤ商工協同組合連合会 / 全国オートバイ協同組合連合会 / 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 / 日本自動車輸入組合 / 公益財団法人日本自動車教育振興財団 / 一般社団法人自動車用品小売業協会

自動車整備士資格

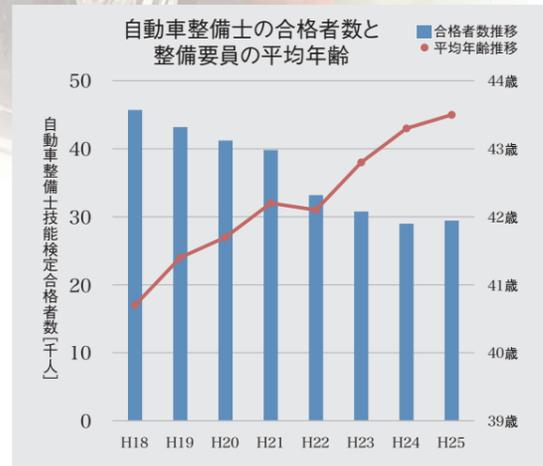
自動車整備士の現状

自動車の整備に関する国家資格として自動車整備士がありますが、近年、自動車整備士の資格を取得する若者が減少しています。また、それに合わせて整備事業への従事者の平均年齢が上がってきております。

このため、多くの整備工場やディーラーでは、自動車整備士資格の取得者や取得を目指すエンジニアを求めています。

また、自動車には時代の流れとともに、新しい技術が次々と開発、搭載されています。特に、クルマに乗車する人や歩行者などの安全を確保する技術、燃費の向上や排気ガスをクリーンにする環境性能を高める技術が新たに多く開発され、実用化されています。現在も、水素等の新しい燃料を使った自動車や、自動運転の技術など、様々な先進技術の研究、開発が積極的に進められています。

自動車整備士の仕事は、これら新しい技術の自動車に対応できる専門的な知識と高い技能が求められる仕事となっています。



自動車整備士の種類

自動車整備士になるためには、一定の実務の経験後や自動車整備士の養成施設等の修了後に、国が行う自動車整備士技能検定の学科試験及び実技試験に合格する必要があります。なお、登録試験機関による登録試験の合格、自動車整備士の養成施設の修了等により、試験の一部又は全部が免除されます。

また、自動車の分解整備を行う認証整備工場や指定整備工場（民間車検場）には、自動車整備士の有資格者が必要です。

三級自動車整備士 特殊整備士

三級自動車整備士は、各装置の基本的な整備ができる知識と技能を持っています。
特殊整備士は、車体、電気装置、タイヤの各分野において、専門的な知識と技能を持っています。

二級自動車整備士

二級自動車整備士は自動車の一般的な整備ができる知識と技能を持っています。

自動車検査員、整備主任者を
目指す場合は必要

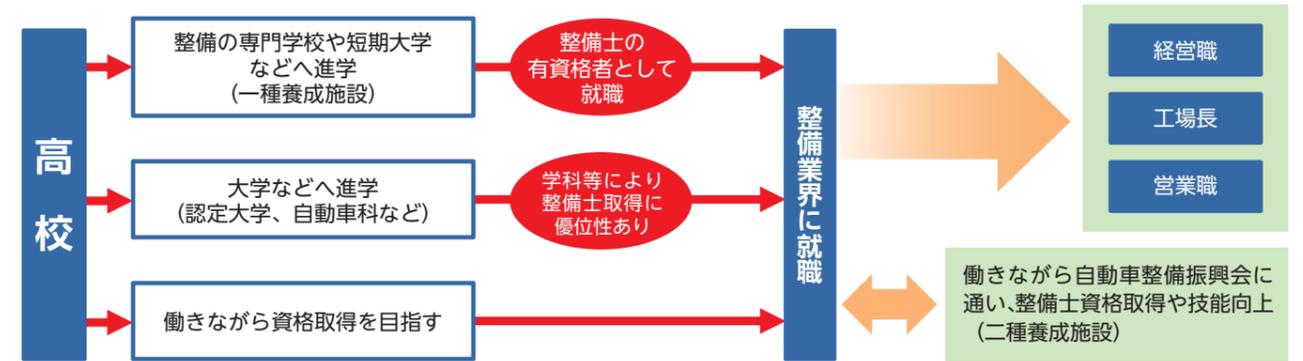
一級自動車整備士

一級自動車整備士は自動車の全般的かつ高度な整備ができる知識と技能を持っています。

自動車整備士の
最高位

自動車整備士を目指すには？

自動車整備士の資格を習得するには、専門学校や短期大学、大学等で自動車整備の知識と技術を習得する方法と、整備工場に就労後、働きながら勉強して資格を取得する方法の二通りがあります。



また、近年、自動車整備士が活躍される場が広がっています。自動車整備士として働いている方で、技術のスペシャリストを目指すだけでなく、自動車販売などの関連分野においても、会社経営に携わる重要なポジションに就く方も増えています。このように最近、自動車整備士が、様々な職種で習得した技術を存分に発揮して活躍されています。

整備士を養成する専門学校や短期大学などの授業風景



国土交通大臣杯の授与式

自動車整備の技術と知識を競う全日本自動車整備技能競技大会の優勝者に、太田大臣から国土交通大臣杯が授与されました。

太田大臣より、優勝者に対し、「物づくり大国日本の一番の力の源は現場の力、優勝者の腕と技術は国土交通省にとっても誇り」とのお言葉がございました。



太田大臣と第19回大会優勝の茨城県チーム

先輩からの一言



滋賀県 Cさん 女性

「変な音がする」とご来店して下さった車のその音をピタッと止められたり、一度バラバラにしたエンジンを組み直して、正常にエンジンがかかった瞬間はメカニックとしての喜びを感じます。また、最近は車のことを通してお客様と色々な話ができた時もやりがいを感じています。

私自身、自動車整備の学校へ行くまでは車の知識はありませんでした。車に詳しくなくても興味さえあれば進んでいける道だと思います。



北海道 Dさん 男性

車に興味のある人はもちろんですが、車なんて全然興味がないという人でも、スタートラインは、一緒なので頑張ってもらいたいです。プロのメカニックになるためには、必ず、資格が必要になります。そのための勉強を頑張れば、日本の車社会において、必ず必要とされる人材になると思います。なので、進路等が決まっていない人も、整備士を目指している人も、一緒に頑張りましょう!!



山形県 Tさん 男性

調子悪い車を直して納車した際に「ありがとう」と、言ってもらえた時はとてもうれしいですし、自分の車の整備や、自分好みの車にカスタムできることは、とても良いです。

資格を取ることは当然ですが、整備士として就職してからも、勉強が必要な仕事です。それでも整備士の仕事は、毎日違う作業をしますし、飽きが来ない、とてもやりがいのある仕事で、何より手に職がつく仕事です。女性の方にも、そんなにイメージするほど悪い仕事ではないと思います。



愛媛県 Aさん 女性

これからは、『整備士』として女性を採用してくれる整備工場が増えてくると思います。『整備士＝油まみれ』の時代は変わりつつあります。腕力では男性に負けますが、女性はコミュニケーション能力、愛嬌、笑顔という男性に負けない武器があります。

自動車整備業もサービス業です。堂々と表に出て作業してください。一緒に自動車整備業界を明るくしていきましょう!

自動車整備士についてのホームページ【国土交通省】 http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk9_000011.html

自動車整備士養成施設の一覧は、上記ホームページ内の「自動車整備士養成施設」に掲載されています。養成施設の情報は、一種養成施設は個々の学校等に、二種養成施設はお近くの自動車整備振興会にお問い合わせください。



登録試験に関するホームページ【(一社)日本自動車整備振興会連合会】 <http://www.jaspa.or.jp/>

